

2021年 第33週（8月16日～8月22日）の感染症発生動向調査情報を送付します

<今週の内容>

- 1 管内の発生状況
- 2 発生から見る注意点
 - 1) RSウイルス感染症の発生が続いています
 - 2) ダニ媒介感染症に注意しましょう
- 3 新型コロナウイルス感染症について
 - 1) 県全域に緊急事態宣言（期間 8月20日～9月12日）
 - 2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」
- 4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

1 管内の発生状況

- 1) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）（報告のあった全疾患）
（表1）

	疾患名	定点当たり患者数			増減 (今週-先週)
		今週	先週	先々週	
1位	RSウイルス感染症	4.00	11.00	11.00	-7.00

- 2) 管内の全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症）

結核 1人

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1人 男性 70歳代

2 発生から見る注意点

- 1) RSウイルス感染症の発生が続いています

県の定点あたり患者数は今週2.45人（先週2.38人）で、依然として多い状況が継続しています。管内は4.00人（先週11.00人）となっています。

RSウイルスを病原体とする呼吸器感染症で、2歳までにほぼ全員が感染しますが、その後も感染を繰り返します。乳幼児の肺炎及び気管支炎の重要な原因となっていて、特に心肺等に基礎疾患があると重症化しやすいといわれています。手洗いやうがいを徹底し、乳幼児が呼吸器症状を示した場合は早めに医療機関を受診することが重要です。

- 2) ダニ媒介感染症に注意しましょう

ダニ媒介感染症

病名	日本紅斑熱	つつが虫病	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）
病原体	日本紅斑熱リケッチア	つつが虫病リケッチア	SFTSウイルス
媒介ダニ	マダニ	ツツガムシの幼虫	マダニ
潜伏期間	2～8日	5～14日	6～14日
症状	発熱・発疹・刺し口重症化することあり		発熱・消化器症状重症化することあり

ダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに咬まれる危険性が高まります。

草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、虫除け剤を使用し、長袖・長ズボン（シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる、または登山用スパッツを着用する）、足を完全に覆う靴（サンダル等は避ける）、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大切です。

また、屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認して下さい。特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などがポイントです。

マダニに咬まれたら、無理に引き抜こうとせず、皮膚科など医療機関で処置をしてもらいましょう。

ダニ媒介感染症(厚生労働省ホームページ)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

3 新型コロナウイルス感染症について

兵庫県内では、第33週は6,384人（先週3,663人）の新型コロナウイルス新規感染者で、2週連続で過去最多を更新しました。特に20歳代が多く、また10歳代と10歳未満が先週の2倍に増加し、20歳代以下が全体の51%を占めています。

現在猛威を振るっているデルタ株は感染力が強く、家庭内で一人が感染すると家族全員が感染するケースが増加しています。会食や不要不急の外出自粛、3密の回避等、感染防止対策を徹底し、一人ひとりが「うつらない・うつさない」との強い思いで取り組むことが大切です。

1) 県全域に緊急事態宣言（期間 8月20日～9月12日）

緊急事態宣言の対象地域に指定されました。

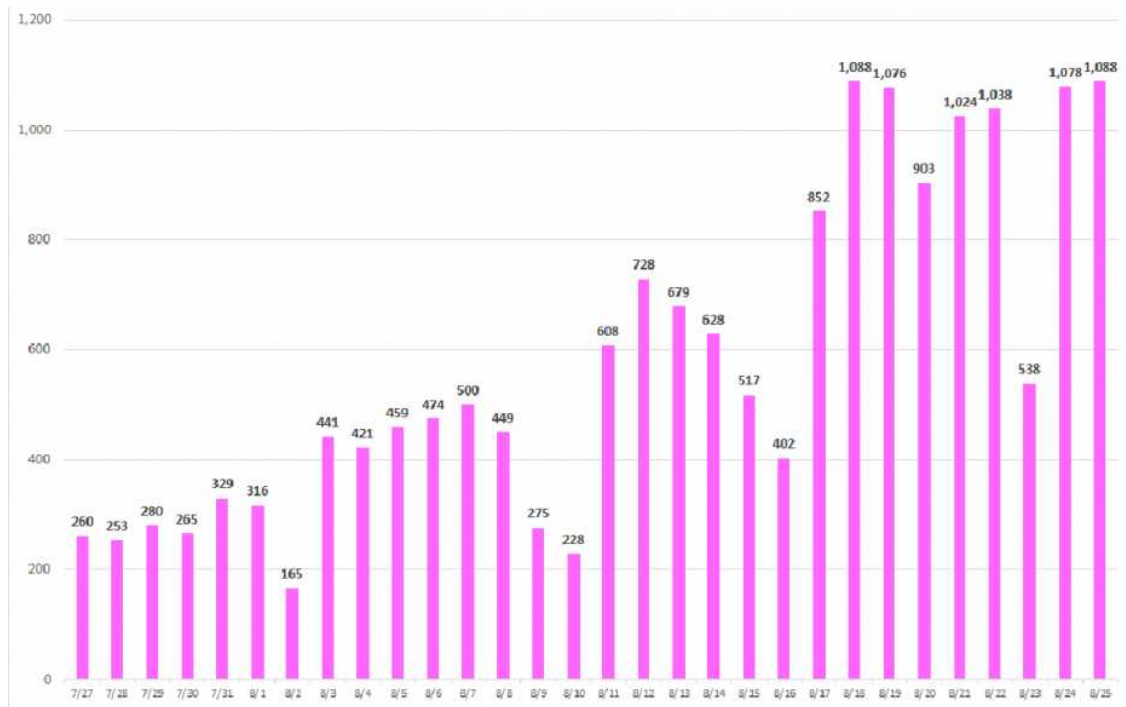
新型コロナウイルスの感染が急拡大しています。夏休みに入り、家族や友人と久しぶりに会う機会ですが、この夏は旅行、帰省、同窓会などできるだけ控えてください。

感染拡大を早期に食い止め、医療ひっ迫を防ぐためにも、緊急事態宣言下であることを若い世代の方々をはじめ一人一人が認識し、一日も早い感染収束に向けて、絶対に感染を再拡大させないという強い思いのもと、感染対策の徹底をお願いします。

【直近1週間平均患者数】

	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25	8/26
新規陽性者数:1週間平均(人)	780.9	837.4	911.9	931.3	963.6	963.6	953.7
重症者用病床の使用率(%)	43.6	42.2	42.9	45.7	45.7	45.7	-

【直近1ヶ月の陽性件数の推移（7/27～8/25）】



兵庫県内の新型コロナウイルスに感染した患者の発生状況

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/corona_hassei_jyokyo.html

皆様へのお願い

(1) 外出半減を徹底

- ・日中も含め不要不急の外出・移動を自粛、特に混雑した場所等への外出を半減してください。
- ・時短要請時間外の営業や酒類・カラオケ設備を提供する飲食店等や感染対策（アクリル板の設置又は座席間隔1m以上の確保など）が徹底されていない飲食店等の利用はやめてください。
- ・路上・公園での飲酒・友人・グループによる宅飲みなど感染リスクの高い行動はやめてください。

(2) 飲食時でも会話の際にはマスクを着用

(3) 家庭内での感染対策

- ・会食の自粛やマスク着用、手洗い、消毒、換気などの感染対策を徹底し「ウイルスを家庭に持ち込まない、ウイルスを家庭内外に広げない」行動を徹底してください。
- ・帰宅後の手洗い、室内喚起の実施、毎日の検温、家族の健康管理を行い、発熱などの症状が出た場合はかかりつけ医に相談してください。
- ・部活動やサークル活動などの際には、熱中症に注意しながら、会話の際のマスクの着用など感染対策を徹底してください。

(4) ワクチンの積極的な接種

- ・ワクチン接種は感染を予防します。副反応や接種後の死亡例等の誤った情報には惑わされず、正確な情報のもと、特に若い方の積極的な接種への参加をお願いします。
- ・ワクチン接種後も引き続き、マスクの着用、手洗い、人と人の距離の確保など基本となる対策の徹底をお願いします。

(4) 事業所・施設等での対策の徹底

- ・出勤者数の7割削減を目指し、在宅勤務(テレワーク)等の推進をお願いします。
- ・職場クラスターが増えています。従業員の感染対策の徹底をお願いします

感染拡大を予防する「日常生活」(ライフスタイル)



(兵庫県) 新型コロナウイルス感染症の対応について

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/200129.html>

新型コロナウイルスの感染拡大を予防する「ひょうごスタイル」の推進

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/hyogo-style.html>

2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」

時間	機関	電話番号
平日 9:00~17:30	朝来健康福祉事務所	079-672-0555
平日・休日 24時間	新型コロナ健康相談コールセンター	078-362-9980

新型コロナウイルス感染症に関する情報については、以下のホームページ等で随時更新されています。

1 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

2 国立感染症研究所 新型コロナウイルスに関連する情報

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-corona/9305-corona.html>

3 兵庫県新型コロナウイルス感染症について

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/singatakorona.html>

4 新型コロナウイルスの対応について

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/200129.html>

4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

＜問合せ先・予約先＞朝来健康福祉事務所

電話 079-672-0555

ホームページ <https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk08/asagoeizukensa.html>

メール asagohokensho-aids@pref.hyogo.lg.jp

実施日 9月実施日 9月2日(木)、9月16日(木)